

# 『改めて土砂災害を知り、備える』シンポジウムを開催

大規模土砂災害対策技術センター

那智川流域に甚大な被害をもたらした平成23年紀伊半島大水害から6年が経ち、その後も毎年各地で多くの土砂災害が発生しています。

このたび、地域の皆様に改めて土砂災害を知っていただき、土砂災害から命と地域を守るための備えについて考えていただく機会としてシンポジウムを開催したところ、会場いっぱいとなる約200名の方々に参加いただき、地域の皆様の関心の高さを実感しました。

## ■ 開催概要 ■

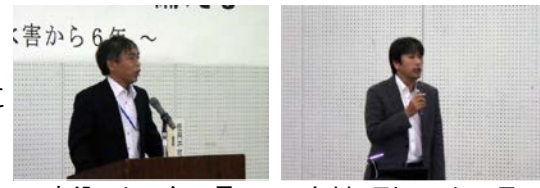
日 時：平成29年9月9日（土）13：30～16：00  
会 場：那智勝浦町体育文化会館  
主 催：近畿地方整備局 大規模土砂災害対策技術センター  
協 力：和歌山県 土砂災害啓発センター・那智勝浦町

## ■ シンポジウム概要 ■

- ①開会挨拶 中込センター長（近畿地方整備局 河川部長）  
・今後も命を守るための研究を今後も進めていきたい
- ②近年の土砂災害を振り返って ～その特徴と対策～  
吉村 副センター長（紀伊山系砂防事務所長）  
・土砂災害の特徴と降雨状況の変化、近年の土砂災害の事例と明らかになった課題を踏まえたハード対策・ソフト対策の概要を紹介
- ③大規模土砂災害対策技術センターの取り組み  
木下 センター員（国総研 土砂災害研究部 砂防研究室 主任研究官）  
田中 センター員  
・土砂災害の発生メカニズムの解明や、土砂災害をいち早く検知するための調査研究、小学生を対象とした防災教育の取り組みを報告
- ④土砂災害に関する研究の最前線から  
桜井 副センター長（国総研 土砂災害研究部 砂防研究室長）  
・土砂災害の切迫性や発生状況を把握するためのSNS（ツイッター等）を活用した研究等の内容について報告
- ⑤パネルディスカッション  
『頻発・激化する豪雨に対する避難のあり方』  
大規模土砂災害対策技術センター 桜井副センター長・木下センター員  
和歌山県砂防課 森川副課長 那智勝浦町 寺本町長  
進行：大規模土砂災害対策技術センター 吉村副センター長  
・各機関での取り組みや問題認識を出し合った上で、土砂災害から命と地域を守るために重要な以下のポイントを参加者と改めて確認  
『土砂災害について改めて知る』  
『早めの避難を心掛け、実践する』  
『みんな（個人・地域・行政）で協力して取り組む』
- ⑥閉会挨拶 寺本 那智勝浦町長  
・地域住民が、センターの取り組みを通じて災害の知識を習得し、自助共助の意識が高まることを期待したい



会場の様子



中込 センター長

吉村 副センター長



桜井 副センター長

木下 センター員



田中 センター員

寺本 那智勝浦町長



パネルディスカッションの様子



パネル等展示の様子

## ■ パネル等の展示 ■

調査研究成果を紹介するパネルとともに、調査で使うドローンや各種観測機器、那智川流域の地質ボーリングコア標本、模型装置による土石流実験の実演等、「見て・触れる」展示を行いました

## ■ 参加者の声 ■

- 近年、雨の降り方が変わってきている中、災害に備える心構えが大事だと感じた
- 災害を忘れないためにも、またこのような機会があればと思う
- 若い世代にも聞いてほしい

【問合せ先】国土交通省 近畿地方整備局 大規模土砂災害対策技術センター  
〒649-5302 那智勝浦町市野々3027-6（和歌山県土砂災害啓発センター2F）TEL 0735-55-0820

